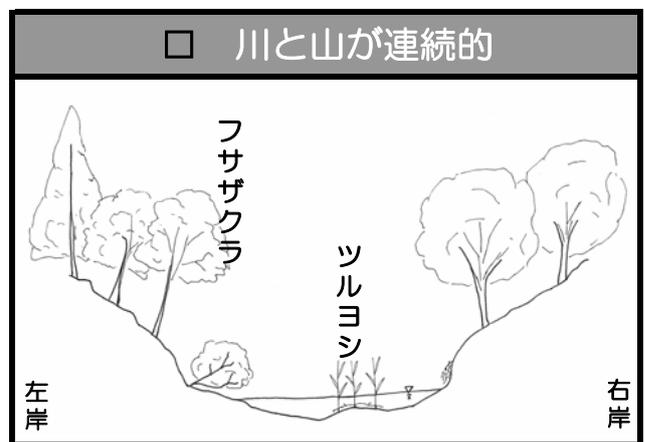
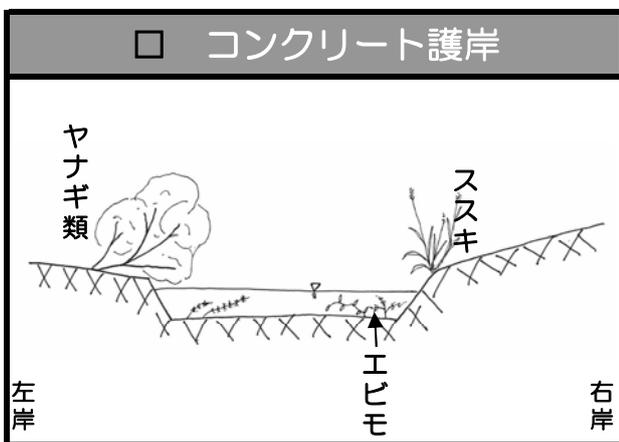
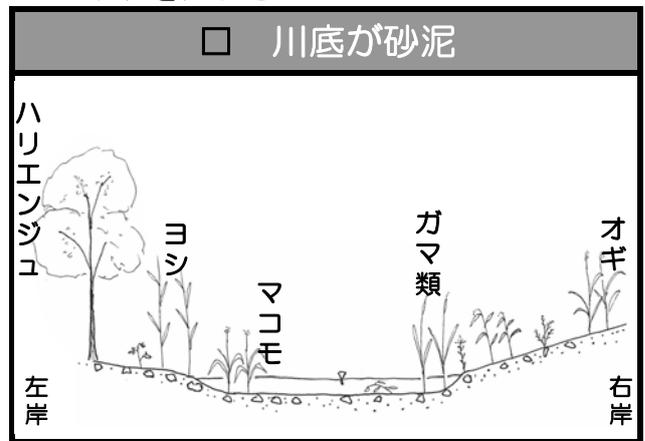
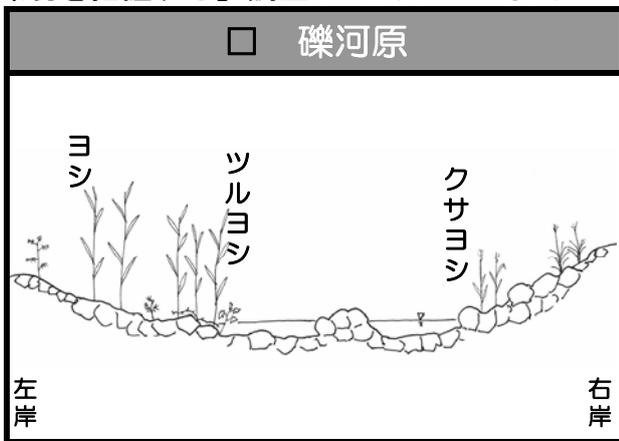


神奈川県県民参加型調査 現地調査シート (植物調査 : 1/6)

【環境を把握する】 調査した川はどんな川？ □にチェックを入れる



*下流を向いて右側が右岸、左側が左岸といえます。

調査した川の断面図をかいてみよう！

- ・河川と陸の境界を見てみよう！ (川は急激に深くなる？それとも、なだらかに深くなる？)
- ・水際にヨシ帯 (ヨシやツルヨシのまとまり) はあるかな？
- ・水草はあるかな？

神奈川県県民参加型調査 現地調査シート (植物調査 : 2/6)

【河川で見られる水草たち】確認できた生き物は□にチェックを入れる

オオカナダモ (外来種)



オオカナダモ

葉は4枚ずつ出ることが多いです。全体にコカナダモやクロモより大きいです。

クロモ、葉は5~7枚

線画 : 「神奈川県植物誌」神奈川県植物誌調査会

コカナダモ (外来種)



コカナダモ

葉は3枚ずつ出ることが多く、オオカナダモよりも細く、チリチリとねじれます。全体に小さいです。

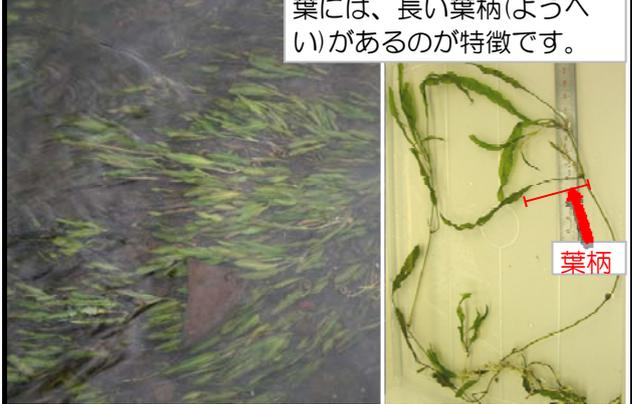
エビモ (在来種)



葉の縁はノコギリ状で、波打つのが特徴です。

写真提供 : 内山寛 (日本大学)

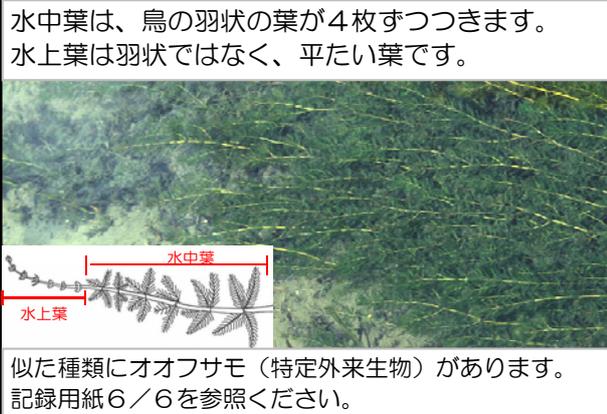
ササバモ (在来種)



葉には、長い葉柄(ようへい)があるのが特徴です。

葉柄

ホザキノフサモ (在来種)



水中葉は、鳥の羽状の葉が4枚ずつつきます。水上葉は羽状ではなく、平たい葉です。

水中葉

水上葉

似た種類にオオフサモ (特定外来生物) があります。記録用紙6/6を参照ください。

写真提供 : 内山寛 (日本大学線画)、線画 : 「神奈川県植物誌」神奈川県植物誌調査会

そのほかに見つけた水草も記録しよう!

神奈川県県民参加型調査 現地調査シート (植物調査 : 3/6)

【豊かな環境を指標する生き物】確認できた生き物は□にチェックを入れる

ススキ (陸域に生える)



茎が地面から束になって出るのが特徴です。やや乾いた場所に多くみられます。

オギ (陸域に生える)



大きな白い穂が目立ちます。茎は地面から1本ずつ出るのが特徴で、ススキと区別されず。やや湿った場所に多くみられます。

ヨシ (水辺に生える)



水辺の泥～砂地に生え、水の流が遅いところに多くみられます。

ツルヨシ (水辺に生える)



水辺の砂～礫地に生え、水の流の速いところに多くみられます。地面をはう“つる”(根茎)があれば、ツルヨシです。

ツルヨシの“つる”

クサヨシ (水辺に生える)



泥～礫地の水辺に普通にみられます。ヨシに似ていますがヨシよりも小さく、葉や茎も軟らかいのが特徴です。

マコモ (水辺に生える)



水辺の泥地に、水没したような状態で生え、大きいものは、草丈が2m程になります。

花に長い芒(のぎ)があります。

神奈川県県民参加型調査 現地調査シート (植物調査: 4/6)

【豊かな環境を指標する生き物】確認できた生き物は□にチェックを入れる

□ ヤナギ類

葉の形も樹形も、たくさんの種類があります。葉の裏が白っぽいものが多いです。



□ オオイヌタデ

葉脈が多いのが特徴です(片側20本以上)。大きいものは、高さ1.5m程になります。



線画:「神奈川県植物誌」神奈川県植物誌調査会

□ ミソソバ

水辺に生えます。葉の形に特徴があります。



□ フサザクラ

渓谷に生えます。葉の形に特徴があります。



□ ヒメレンゲ

渓谷の湿った岩場に生えます。葉は細長く、小さいです(長さ2cm程度)。

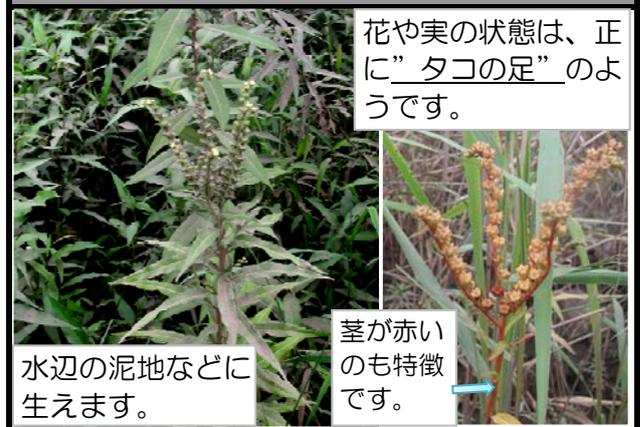


□ タコノアシ (貴重種)

花や実の状態は、正に“タコの足”のようです。

水辺の泥地などに生えます。

茎が赤いのも特徴です。



神奈川県県民参加型調査 現地調査シート (植物調査 : 5/6)

【豊かな環境を指標する生き物】確認できた生き物は□にチェックを入れる

カワラハハコ

茎は下部で多数枝分かれし、こんもりとした印象になります。葉に毛が多く、白っぽく見えます。



礫河原に生えます。

写真提供：相模原市立博物館

カワラヨモギ

河原の砂～礫地に生えます。葉は細長く、糸状です。



芽生えの葉は、白っぽく見えます。

写真提供：相模原市立博物館

カワラケツメイ

礫河原に生えます。葉は、鳥の羽状です。茎や葉、豆のさやに、毛が多いのが特徴です。



線画：「似た草80種の見分け方」全国農村教育協会

カワラケツメイと間違えやすい植物 クサネム

カワラケツメイに似ています。クサネムには、ほとんど毛がないので、カワラケツメイと区別できます。河原でもしばしばみられます。



線画：「似た草80種の見分け方」全国農村教育協会

セリ

食用にするセリです。春の七草のひとつです。



写真提供：相模原市立博物館、線画：「神奈川県植物誌」神奈川県植物誌調査会

そのほかに見つけた植物を記録しよう！

神奈川県県民参加型調査 現地調査シート (植物調査 : 6/6)

【生態系を乱す植物たち (外来種)】確認できた植物は□にチェックを入れる

ハリエンジュ (別名 : ニセアカシア)



ハリエンジュの花
葉に特徴があります。奇数羽状複葉といえます。

枝などにトゲがあります。砂防や養蜂用等に植えられた歴史があります。

花の写真 : 「ニセアカシアの生態学」文一総合出版

シナダレスズメガヤ



茎や葉が、地面から束になって出て、こんもりとした印象になります。

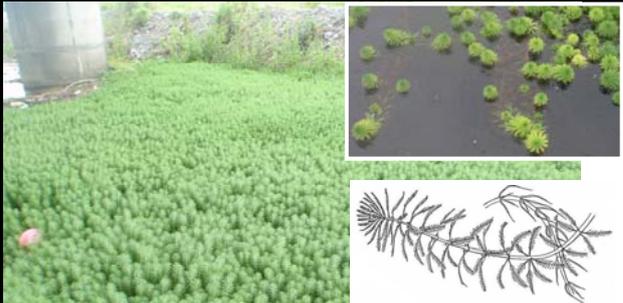
アレチウリ (特定外来生物)

茎も葉も、毛があってザラつきます。葉は、5~7角形で、手の平よりやや大きいです。



実にも毛があり、硬く鋭い。危険!!

オオフサモ (特定外来生物)



葉のほとんどが水上に出ます。枝分かれをたくさんして増殖します。群生地をつくり、生態系を乱す存在です。特定外来生物に指定されます。

線画 : 「神奈川県植物誌」神奈川県植物誌調査会

* 特定外来生物とは、外来種の中でも、生態系に特に大きな悪影響を及ぼす存在であり、環境省が「外来生物法」により指定する生物を指します。

以下、記録欄

そのほかに見つけた植物を記録しよう！

・名前がわかる植物はどんどん記録しよう！